

Weekly Report

ROTARY CLUB OF KONAN

2022-23



イマジン
ロータリー

創 立 / 1965年6月25日
例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
会 場 / 江南商工会館1F 大ホール
江南市古知野町小金1-2
0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館 別館1F
TEL / 0587-55-6554
FAX / 0587-59-7720
URL / <http://www.konan-rc.com/>
Mail / kouanrc@beach.ocn.ne.jp
会長 / 富永典夫 幹事 / 岩田進市 会報委員長 / 北畑祐三



2023年(令和5年) 3月2日(木) 晴れ 第2754回(当年度第23回)例会

点 鐘 会長 富永 典夫君

司 会 SAA 片平 博己君

国歌斉唱 「君が代」

ロータリーソング斉唱 「奉仕の理想」

4つのテスト唱和 タンヤピシット・シタン君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介

愛知ロータリーEクラブ 小田 純也様



ようこそ江南ロータリークラブへ！！

米山奨学生 タンヤピシット・シタン君



会長挨拶

会長 富永 典夫君



皆さん、こんにちは。米山奨学生のタンヤピシット・シタンさんの例会出席は本日で最後であります。一昨年の4月の例会よりのお付き合いではありますが、学業を全うされ、江南ロータリークラブのメンバーにも多くの思い出を残して頂きました。今後日本で就職され活躍されることと思います。たまには、江南ロータリークラブに顔を出して頂きたいと思っております。また、タイと日本との懸け橋になって頂きたいと思っております。また、カウンセラーとして山田会員には、一年間努めて頂き感謝申し上げます。

さて、明日は、ひな祭りであります。皆さんもご存じの様に、ひな祭りは、実は古代中国の「川で身を清めて邪気を払う上巳(じょうし・じょうみ)節」が日本に伝わり、日本古来の「人形(ひとがた)流し」という厄払いの風習と結びつき、さらにそれが平安時代の貴族のおままごとである「ひいな遊び」と組み合わせさせて、徐々に今のようになつたといわれています。ちなみに上巳とは、3月上旬の巳(み)の日のこと。当初は3月に入って最初の巳の日に行われていた上巳節は、3世紀ごろ3月3日に固定されたといひます。

子どもが生まれると人形をつくって保管しておき、3歳ごろになってから流すという時代もあったが、時を経て人形が豪華になっていくにつれ、流さずに素早く片付けるようになりました。

日本で現在のような人口動態調査が始まった明治32(1899)年でも、生後1年未満の子どもの死亡率は15.38%だったというから、それ以前の子どもが3歳まで生きられる確率はかなり低かったと推測され、厄払いの行事が、いつしか子どもの健康と成長を祈る行事になったのも自然な流れかもしれません。

このように元は男女問わず子どもの健康と成長を祈っていた上巳の節句は、「端午の節句(5月5日)が男の子の日」という認識の広まりにあわせて、「女の子の節句・ひな祭り」として庶民に定着していきました。江戸時代の中期以降は盛大な「雛市」が立ち、段飾りが生まれ、「ひな祭り」という言葉もこの頃から一般的になっていきました。ちなみにひな祭りの別名は、「桃の節句」。ひな飾りとともに桃の花が飾られるのは、旧暦上巳のころに桃の花が開花するというだけでなく、中国では桃の木が邪気を祓ったり、子孫繁栄をもたらしたり、実が不老長寿をもたらす仙木と考えられていたからです。

こうした子に対する親の思いはいつの時代も同じです。世界を見回しても現在、多くの子供たちが、安全で安心な環境にいません。ロータリーの活動によって救われる子供たちもいますが、災害、貧困、戦争、等解決することは多くあります。ひな祭りを迎えるにあたり、そのような子供たちのことも考えたいと思います。

幹事報告 -別紙-

幹事 岩田 進市君

委嘱状伝達式

地区ロータリー奉仕委員会／副委員長 南村 朋幸君



社会奉仕委員会／副委員長 片平 博己君



防災対策委員会／委員 杵本 哲一君



祝 福

古稀 熊澤 治夫君



出席報告

委員 木本 寛君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
48名	35名	13名	77.78%

ニコボックス

委員 木本 寛君

○会員卓話 田崎健一郎君、本日の卓話、よろしくお願
い致します。シタンさん、祈御活躍！！

富永 典夫、南村 朋幸、岩田 進市、駒田 洋平各君
○シタンさん 祈御活躍！！

会員卓話 田崎健一郎君 本日の卓話、よろしくお願

い致します。

松岡 一成、古田 嘉且、杉浦 賢二、沢田 昌久
片平 博己、岩田 静夫、枚本 哲一、長瀬 晴義
波多野 智章、中村 耕司、富田 清孝、加藤 義晴
木本 寛、近藤 道彦 各君

卓 話 「これからの自動車業界について」

田崎 健一郎君



まずは、私共の会社について簡単にご説明させていただきます。

各種自動車の新車、中古車販売、修理、钣金塗装、保険業務、ロードサービスを行う会社として、一宮市三ツ井に2001年に創立致しました。現在、従業員数約10名で日々の業務にあたっております。

弊社の強みとしましては、各業務全てを自社で行うところにあります。その為、設備等は最新のものを揃えて業務を行っております。

例えば、钣金の際のフレーム修正機は、イタリアから輸入したものを使用して、最新自動車等の修理しております。塗装につきましては、塗装ブースを2台完備しており、調色コンピューターなど専用カメラを使うことでより人の目に近い色合わせをしております。修理につきましては、4輪3Dアライメントという、足廻りの歪み等を計測するものを導入しております。2023年には、すべての新型車両に使用される新フロンガスの回収充填装置なども導入しております。

自動車修理も大変複雑になっており、フロントバンパー、リヤバンパー等を交換する際には、ほとんどの新型車両で、センサーエーミング作業という電子機器の再設定を行わなければなりません。その為には、専用のコンピューター端末が必要です。これらの業務を全て自社で行うことにより、少しでも早く確実に修理を完了させ、お客様にご納車出来るよう業務を行っております。

これらを踏まえて、自動車業界を取り巻く環境がここ10年間で著しく変化しました。皆様も新聞等でよくお耳にされていると思います。自動車業界は100年に一度の大変革期を迎えております。

その変革を象徴とするキーワードとして、CASE(ケース)という言葉が近年注目されております。CASEとは何か。その概要や注目の背景等を併せて、自動車業界にて今度予見される動きや各自動車メーカーの戦略に

ついて少しご説明していきたいと思っております。

CASEとは C:コネクテッド
A:オートノモス
S:カーシェアリング
E:電気自動車

C(コネクテッド)は、自動車に通信機器やセンサーが搭載され、LOT化が進み、車や周辺の状態、道路状況など取得したデータをインターネットを介して活用していくものです。

例えば

- ・交通情報や駐車場の空き情報の通知
- ・事故発生時の自動通報システム
- ・自動車が盗難された際の自動追跡システム
- ・エンジンの再始動を制御するセキュリティシステム

これらは既に実用化されているコネクテッドの事例です。

A(オートノモス)は、目覚ましい技術革新を遂げている自動運転を指します。国土交通省による自動運転レベル分けについて説明しますと

- ・レベル0: 運転自動化なし
- ・レベル1: 運転者支援
- ・レベル2: 部分的運転自動化
- ・レベル3: 条件付き運転自動化
- ・レベル4: 高度運転自動化
- ・レベル5: 完全運転自動化

以上の現6段階に分かれております。

レベル1~2の技術は、多くの自動車メーカーで先進運転支援システムとして搭載されております。自動車が周囲の状況を取得して警告を行ったり運転を制御したりすることで、運転を支援する機能の総称を表します。皆様のお車にも搭載されているものです。

レベル3も2020年11月にホンダがレベル3を搭載した新型レジェンドを発表するなど、実用化が進行しています。これは自動運転を搭載した自動車として世界で初の認可となります。

また、米国中国などではレベル4の実証実験が行われています。日本においても、2021年に開催された東京オリンピック、パラリンピックの選手村でレベル4相当の自動運転を行う小型の電気バスの運行が行われました。

レベル4までの実証実験は各国で実施されていますが、現時点の技術ではレベル5の実現は困難とされています。レベル3までと、レベル4~5では運転の主体が人から車に変わり、ドライバーが不在になるという大きな違いがあります。その為、特にレベル4以降の実用にあたっては、法整備が必要となってきます。

S(カーシェアリング)は、少し古い資料にはなりますが、工営財団法人交通エコロジー、モビリティ財団が2020年3月に実施した調査によると、カーシェアリングの車両台数は4万台、会員数は204万人と前年比約30%増加しています。これは、車が所有するものから共有するものへと変化するとともに、移動するためのツールとして捉えられるようになってきたと言えます。

最後に、E(エレクトリック)が示す自動車の電氣化の推移は地球温暖化対策として脱炭素社会の実現に向

けた世界的な動きとして展開されています。ガソリンなどの化石燃料から、走行中にCO2を排出しない電気へと動力源の移行の流れが起きています。また、電気自動車は制御のしやすさから、コネクテッドや自動運転の実現にも貢献するとされています。

ここで、脱炭素社会について少し説明します。脱炭素社会とはカーボンニュートラルに向けて、これまでEU各国ではガソリン車、ディーゼル車の販売規制を打ち出してきましたが、2021年7月にEUとして2035年にハイブリットを含むガソリン車、ディーゼル車の販売を事実上禁止にする方針を打ち出しました。また、アメリカではカリフォルニア州で2035年までにガソリン車の販売が禁止されます。

このようなカーボンニュートラル推進に根差した相次ぐ動きから、今後電気自動車の普及が加速していくと思われます。

日本はこうした自動車電動化の動きに遅れているのでは？という見方もありますが、それは正しいものではありません。日本は燃費への意識の高さから、むしろ他国に先駆けてハイブリット車や電気自動車の開発に取り組んできました。トヨタ自動車は、2021年10月に、新型の電気自動車B24Xを発表し、2022年に発売開始そして2030年までに30車種を展開する方針を打ち出すなど、さらなるアクションの具体例も見られます。

自動車は、コネクテッドや自動運転、電動化によって、従来とは異なるイノベーションが起こっており、さらにシェアサービスの普及で、所有から共有に変わる動きも見られます。

この自動車業界の変革を象徴するキーワードがCASEです。自動車メーカーや部品メーカー、当社のような修理業者等、生き残っていく為には、こうした新たな概念に即した事業展開が求められます。高度な技術革新や価格競争力が必要とされていくと思います。

以上が、私どもが今感じている自動車業界の今後の展望です。

本日の食事

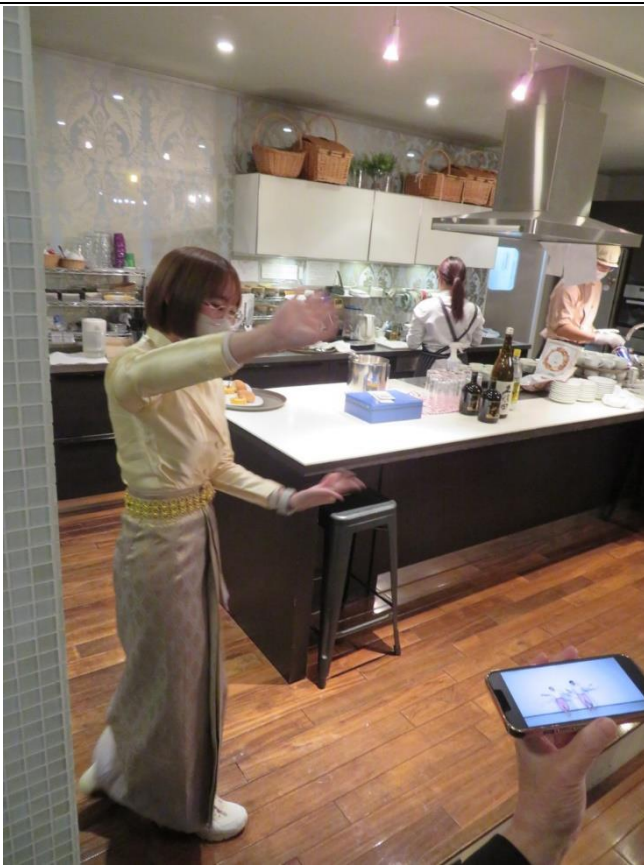


米山奨学生 タンヤピシット・シタンさん 送別会
3月2日(木)、ラ・カーサ江南店においてタンヤピシット・シタンさんの送別会が行われました。



ラ・カーサさんで用意いただいたケーキに山田猛君と入刀！！





シタンさんにはダンスをご披露いただきました！！

今後のご活躍をお祈りしております！！

RI グローバルサポートセミナー

米国エバンストンの国際ロータリー本部で開催されました地域コーディネーターのグローバルサポートセミナーに伊藤靖佑パストガバナーが参加されました。



遠方までご苦労さまでした！！

トルコ地震への募金

先日発生しましたトルコの地震への皆様からの募金が3万7000円となりました。

ご協力頂きありがとうございました。



My ROTARYの登録はこちら

※初めての方は
アカウントを作成してください。
※アカウントがある方は
ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760

アプリダウンロードはこちら

写真等がございましたら会報までお知らせください
(担当 尾関 育良・横山 史明)